

## 研究教育業績（2014-2018 年度）

### I. 研究業績

#### 1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) 土井孝良：久しぶりの教育心理学、日本薬科大学教育紀要、IV巻、53、平成30年
- 2) 土井孝良：水銀の毒性発現機構、日本薬科大学教育紀要、IV巻、55、平成30年
- 3) 土井孝良：薬剤師が導く幸せって何？、日本薬科大学教育紀要、III巻、60、平成29年
- 4) 土井孝良：英語ヒアリングの実力とその後の人生、日本薬科大学教育紀要、III巻、62、平成29年
- 5) 土井孝良：国語教育の重要性 -入試問題を題材にして-、日本薬科大学教育紀要、I巻、130、平成27年
- 6) 土井孝良：創薬を生み出す環境とは何か、日本薬科大学教育紀要、I巻、133、平成27年

[著書]

- 1) 創薬に繋がる薬物動態学と毒性解析の基礎（情報機構）2017

#### 2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 齋藤勝也、佐古兼一、堀江宥磨、根岸新一、土井孝良：薬学部6年生の薬剤師業務に関する意識調査研究 - 薬剤師の責任と義務および終末医療への参画 - 日本薬学会第139回年会（2019）
- 2) 松島芳文<sup>1,2)</sup>、日合 弘<sup>3)</sup>、土井孝良<sup>2)</sup>：新規糖尿病疾患モデル - インシュリン受容体変異マウスの有用性 -、第62回日本薬学会関東支部大会（2018）
- 3) 齋藤勝也、佐古兼一、田村 道、村井保之、土井孝良：6年制薬学部に入学者の喫煙に関する意識調査研究 - 喫煙家族を踏まえた禁煙指導のアルゴリズム -、第62回日本薬学会関東支部大会（2018）
- 4) 土井孝良：薬物動態学の基礎の基礎、安全性評価研究会（2018）
- 5) 土井孝良、齋藤勝也、田村 道、西川由浩、村井保之：6年制薬学部に入学者の喫煙に関する意識調査研究 - 喫煙家族の影響 -、第3回日本薬学教育学会大会（2018）
- 6) 久保田洋子、村橋 毅、船山信次、小林 力、前田 智、熊本浩樹、中村有貴、荒井健介、小林 賢、土井孝良、樋口敏幸、安西和紀：日本薬科大学におけるヒューマニズム教育の醸成 - 新しい評価方法の構築とこれからの課題 -、第3回日本薬学教育学会大会（2018）
- 7) 土井孝良、田村 道、奈佐吉久：PMDAの副作用情報(JADER)に基づくSGLT2阻害薬の有害事象のリスク評価、第45回日本毒性学会（2018）
- 8) 奈佐吉久、田村 道、土井孝良：SGLT2阻害薬は心血管系イベントを抑えるどころか、むしろ増やす？ -PMDA報告データ解析が示す糖尿病治療薬の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク-、日本薬学会第138回年会（2018）
- 9) 久保田洋子、村橋毅、土井孝良、荒井健介、樋口敏幸、安西和紀、ヒューマニズム教育プログラムの構築と課題 -アクティブラーニングの導入と評価、日本薬学会第138回年会（2018）
- 10) 土井孝良：TK 基礎の基礎、第45回生殖発生毒性評価勉強会（2018）
- 11) 田村 道、奈佐吉久、松村久男、土井孝良：SGLT2阻害薬エンパグリフロジンの心血管系イベントの

発症予防効果に関する考察 -EMPA-REG OUTCOME 試験 日本人にあてはめられるのか？日本病院薬剤師会関東ブロック第47回学術大会（2017）

12) 田村 道、齋藤 博、奈佐吉久、佐古兼一、土井孝良、原口一広：6年生薬学部全学年を対象とした喫煙に関する調査研究 -喫煙の嗜好・文化性について-、第61回日本薬学会関東支部大会（2017）

13) Yoko Kubota\*, Kensuke Ari, Tsuyoshi Murahashi, Takayoshi Doi, Kazunori Anzai  
Humanism education utilizing active learning~problems of life and death in medical care  
~, 77th FIP World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences（2017）

14) 柳生直紀<sup>1</sup>、坂本 栄<sup>2</sup>、壁谷知樹<sup>2</sup>、高瀬弘嗣<sup>3</sup>、土井孝良<sup>4</sup>、岩尾岳洋<sup>1,2</sup>、松永民秀<sup>1,2</sup>  
(1. 名市大・薬・臨床薬学、2. 名市大・院薬・臨床薬学、3. 名市大・院医・共同研究教育センター、  
4. 日薬大・薬・薬学教育推進センター)：リン脂質症のスクリーニング系としてのヒトiPS細胞由来肝細胞 (hiPSC-HLCs) の有用性、生命科学系学会合同年次大会（2017）

15) 坂本 栄、栗木俊輔、近藤祐樹、土井孝良、岩尾岳洋、鈴木孝禎、宮田直樹、松永民秀：ヒト人工多能性幹細胞から肝細胞様細胞への分化促進機構の解明と毒性試験への応用、第42回日本毒性学会（2015年）

## II. 教育業績

### 1. 担当授業科目

#### 2018年度

主担：患者の安全と薬害防止（3年生前期）、医薬品食品相互作用（6年生前期）、  
医薬品開発論（5年生後期）

担当：薬剤師の使命（1年生前期）、環境健康科学実習（3年生後期）

#### 2017年度

主担：患者の安全と薬害防止（3年生前期）、医薬品食品相互作用（6年生前期）、  
医薬品開発論（5年生後期）

担当：薬学体験学習（1年生前期）、信頼性関係の構築（2年生前期）、  
衛生系実習Ⅱ実習（3年生後期）、薬剤系実習（4年生後期）

#### 2016年度

主担：薬物動態学（3年生前期）、医薬品開発論（5年生後期）

担当：薬学体験学習（1年生前期）、薬剤師の使命（1年生前期）、衛生系実習Ⅱ実習（3年生後期）、  
薬剤系実習（4年生前期）

#### 2015年度

主担：薬物動態学（3年生前期）、医薬品開発論（5年生後期）

担当：薬学体験学習（1年生前期）、生物系実習（2年生前期）、衛生系実習Ⅱ実習（3年生後期）